

●企業紹介

<https://www.fcc-net.co.jp>



株式会社エフ・シー・シー（FCC）は、二輪車・四輪車向けクラッチを中核とする自動車部品メーカーです。世界トップクラスのクラッチシェアを誇り、国内外の主要完成車メーカーに製品を供給しています。日本を拠点に、アジア・北米・欧州などグローバルに生産・開発拠点を展開し、高品質・高信頼性のものづくりを推進しています。近年は電動化や環境対応技術にも注力し、次世代モビリティ社会への貢献を目指しています。

●取組内容

当社では、希少性が高く国内では流通量の少ない「ドウマンガニ」を対象とした、独自の個別自動養殖システム（通称：カニマンション）を開発し、2023年よりプロトタイプによる試験養殖を開始しています。

給餌・監視・清掃を自動化した高効率な養殖方法により、大型個体の安定生産を図るとともに、一般的には難しいとされる200-300g級のソフトシェルクラブの生産を目指しており、試食会などを通じて市場ニーズの確認を行っている段階です。

今後は、本システムを用いた養殖の量産化・品質向上・販路開拓を進め、ドウマンガニを新たな水産ブランドとして事業化することを目指しています。

●課題

①販売チャネルの拡大とブランディング

高級食材としてのブランド確立や、国内外のレストラン／商社／EC向けの販路開拓。

②加工・商品開発

生・冷凍だけでなく、加工品・惣菜・新メニューなど、高付加価値商品の企画開発。

③養殖の高度化・効率化

より大きく・より速く育てるための最適飼育条件（温度、餌、周期、密度等）の探索。

●スタートアップに求める技術・サービス

- ・国内販路開拓
- ・海外市場向けの販売ネットワーク
- ・商品企画・加工技術・食品開発ノウハウ
- ・ブランドづくり、マーケティング支援
- ・養殖条件の最適化を支援する AI・IoT・センシング技術
- ・個体成長データの解析、飼育自動化の高度化
- ・水産養殖領域の知見・品種改良・甲殻類生理の専門性

●活用できるリソース

- ・独自開発の「カニマンション」自動養殖システム（個別飼育・自動給餌・自動清掃・監視）
- ・FCCが長年培った「製造・設計技術」
- ・実証実験用の 協業予算の確保